

[ 成果情報名 ] ハウスモモ「日川白鳳」の年間窒素収奪量

[ 要約 ] ハウスモモ「日川白鳳」では施肥量が多くなるほど枝及び葉の窒素含有率は高く、年間施肥量が基準量及び 1/2量の場合のせん定枝葉及び収穫果実を累計した年間の系外への窒素収奪量は約 7kg/10a である。

[ キーワード ] ハウスモモ、日川白鳳、窒素収奪量

[ 担当 ] 長崎県果樹試験場・落葉果樹科

[ 連絡先 ] 電話0957-55-8740、電子メール 60a36@pref.nagasaki.lg.jp

[ 区分 ] 果樹

[ 分類 ] 指導

-----  
[ 背景・ねらい ]

ハウスモモでは樹勢が強いと新しょうの徒長による過繁茂や、結実不良、果実品質の低下などが見られる。年間施肥量の違いとせん定期別の枝及び葉の種類と果実の窒素含有率から、系外への窒素搬出量を明らかにし、施肥基準策定の基礎資料とする。

[ 成果の内容・特徴 ]

- 1 . せん定期毎の枝及び葉の窒素含有率は年間窒素施肥量が多いほど高いが、果実では差がない。枝は経時的に窒素含有率は高くなり、葉は経時的な変化は小さい。旧年枝では秋季より冬季が高い（表 1）。
- 2 . 窒素収奪量はせん定量が多い秋季せん定時に最も多く、果実の収穫による収奪量は約 1kg/10a で収奪量に占める割合は低い。せん定及び果実収穫による系外窒素搬出量は施肥量が基準量 (15kg/10a) 及びその 1/2量の場合で約 7kg/10a、施肥量が 0kg/10a では約 5kg/10a である（表 2）。

[ 成果の活用面・留意点 ]

- 1 . 施肥設計及び樹相診断の資料に活用できる。
- 2 . 樹齢 9年生 (2002年)、無加温栽培における共台「日川白鳳」の結果である。

[ 具体的データ ]

表1 年間施肥量と時期別の枝、葉及び果実の窒素含有率( %・DW ) (2002年)

施肥量 (kg/10a)	夏 季		秋 季					冬 季		果実	
	春枝	春葉	春枝	春葉	夏枝 <sup>z</sup>	夏葉 <sup>z</sup>	旧年枝 <sup>y</sup>	春枝	夏枝 <sup>z</sup>		旧年枝 <sup>y</sup>
N 0	0.49	2.54	0.57	2.32	0.49	2.71	0.28	1.11	1.15	0.57	0.65
N 7.5	0.50	2.40	0.82	2.18	0.61	2.79	0.39	1.15	1.21	0.74	0.59
N 15	0.73	2.92	1.12	2.26	0.89	2.94	0.52	1.42	2.31	0.78	0.62

注) 時期は 6月 1日、 9月 1日、 12月1日のせん定時期

<sup>z</sup> 二次伸長した枝葉

<sup>y</sup> 2年生以上の枝

表2 年間施肥量と搬出時期別の窒素収奪量(kg/10a)

施肥量	夏季せん定	秋季せん定	冬季せん定	収穫 <sup>z</sup>	計
N 0	0.2	2.5	1.6	1.1	5.4
N 7.5	0.6	4.0	1.8	0.9	7.3
N 15	0.9	3.4	1.9	0.9	7.2

注) 10a当たり60本植、摘果果実及び落葉は除外した。

<sup>z</sup> 収穫果実重から換算

[ その他 ]

研究課題名：暖地落葉果樹の根域環境改善による環境保全型樹体強化法の確立

予算区分：県単

研究期間：2002～2003年度

研究担当者：種川淳子、田中実、寺井理治、谷本恵美子